

節電しつつ工場を明るく 「NE無電極ランプ」 省エネと快適を両立

東南精機

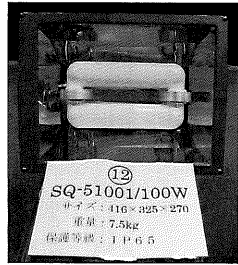
約10万時間の長寿命かつ大幅に省エネ実現

度を高めるべく、普及活動にも力を入れる。「NE無電極ランプ」の最大の特長は、電磁誘導の原理と放電による発光の原理とを利用した、文字通り電極を持たない点。灯りが切れる原因となる電極の劣化や破損が起こらな

いたために、水銀灯と比べて約10倍、LEDと比べて2〜4倍程度の長寿命(約10万時間)が売りだ。LEDのような強い指向性を持たない

ので照射角が広いのも特長。また、演色性が高く、自然光に近いために、長時間の使用でも目に負担が掛からない。工場や倉庫、体育館など、広い空間を効率的に照射できるために、同レベルの明るさを維持するための消費電力量が水銀灯と比べて約3分の1になる(約63%カット)点も魅力だ。節電しながら目に

も環境にも優しい、また、次世代の照明機器。



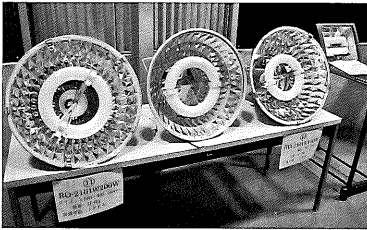
者として名を知られる東南精機だが、当初、節電目的で自社に採用した結果、工場内の明るさが変わらないにもかかわらず消費電力が約3分の1になる事を

品メーカーからも工場建屋用の照明として10000個以上の注文を得るなど、ヒット商品化する兆しを見せている。

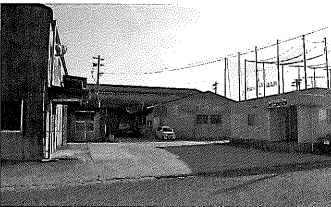
実感。国内での今後の普及を見越し、商品名「NE無電極ランプ」として製造販売を行い始めた。本格的な販売を始めて数ヶ月だが、トヨタ系の大手自動車部

同社では、屋内での使用に留まらず、屋外での使用を実現できるように商品を改良。屋内向けの「ROシリーズ」、高速道路やトンネル、橋梁などで使用が可能な「SQシリーズ」、街灯やダウンライト照明として使用可能な「VEシリーズ」の3シリーズ体制で拡販を進めている。また、従来の「無電極ランプ」には無い超薄型の「UPシリーズ(仮称)」の開発も進められており、近く販売を始める予定。

愛知県安城市の東南精機が、次世代のEC照明機器「NE無電極ランプ」の製造販売を始めている。7月には、増産体制を確立するために本社近隣に約1億円を投資して新たに工場を確保。シヨールームも設置し、「NE無電極ランプ」の認知



「無電極ランプ」は、特に水銀の使用に強い規制が掛かる欧州では、水銀灯に替わる光源として知られる存在。アジア圏でも、中国で開発が進められるなど、今後、グローバルスタンダード化が見込まれる光源だ。大物ワークの加工業



増産に向け新工場も動き始めた

増産に向け新工場も動き始めた